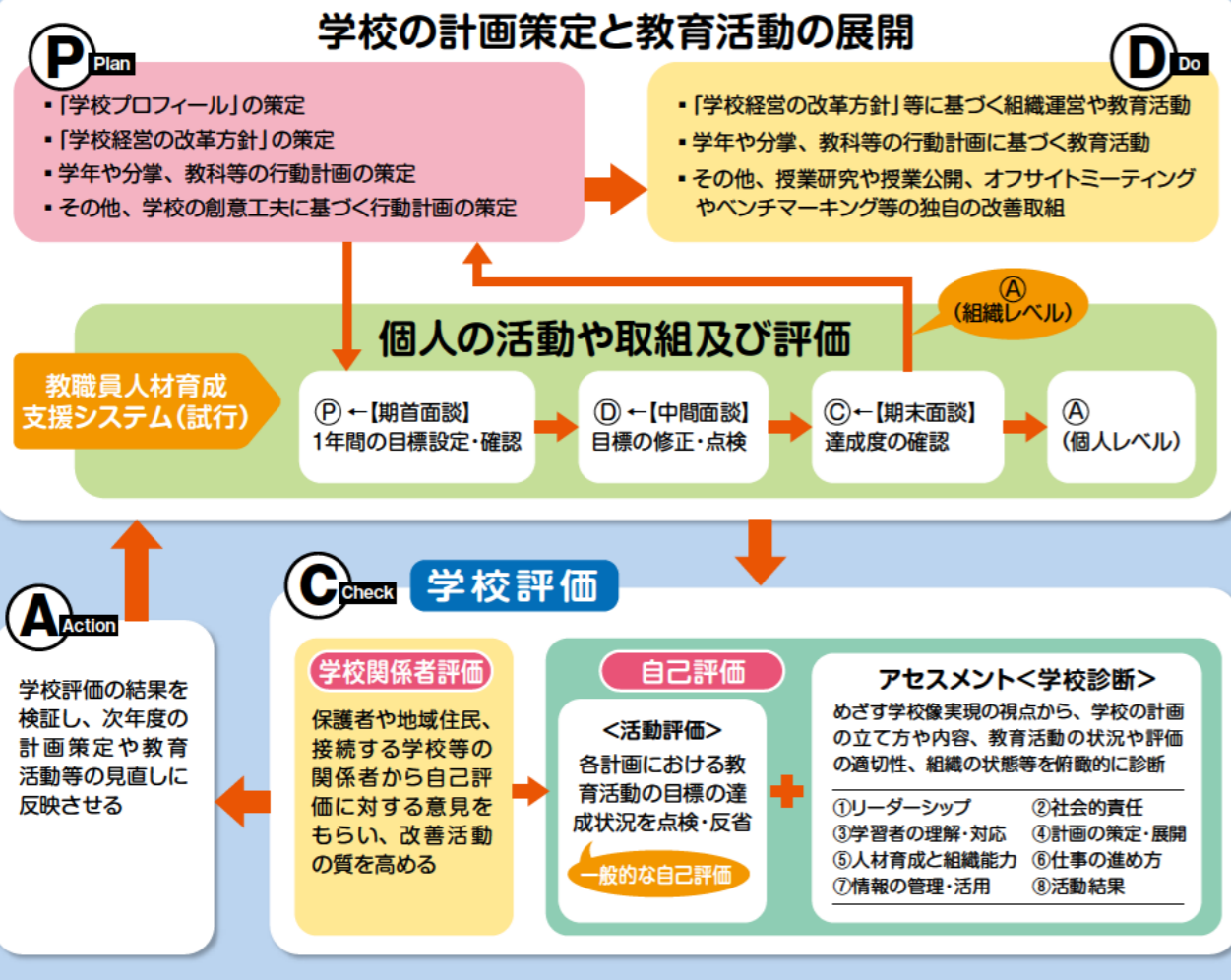


学校経営品質向上活動における学校評価の位置づけ

学校経営品質向上活動

対話と気づきによる継続的な改善活動



用語の定義

- 三重県型「学校経営品質」
公益財団法人日本生産性本部が提唱する「経営品質向上プログラム」の考え方、理念、仕組みを学校に合わせた形でアレンジしたもの
※「経営品質向上プログラム」は公益財団法人日本生産性本部が開発した、組織が「卓越した経営」を目指すためのプログラムです。かつて米国経済の再生に重要な役割を果たした「マルコム・ポルドリッジ国家品質賞」の考え方の日本版となります。
- 学校経営品質(=学校経営の品質)
学校経営の質、状態(=職員の連携・協力の状態や授業の質)
- 学校経営品質向上活動
三重県型「学校経営品質」の考え方、理念、仕組みをベースにしなが、様々な手立てにより学校経営品質を高めていく活動



三重県教育委員会事務局
研修企画・支援課

〒514-0007 三重県津市大谷町12番地
TEL : 059-226-3428 FAX : 059-226-3706
e-mail : kenshien@pref.mie.jp
http://www.pref.mie.jp/kyokai/hp/keihin/
発行：平成24年4月

対話と気づきで実践！



三重県型「学校経営品質」

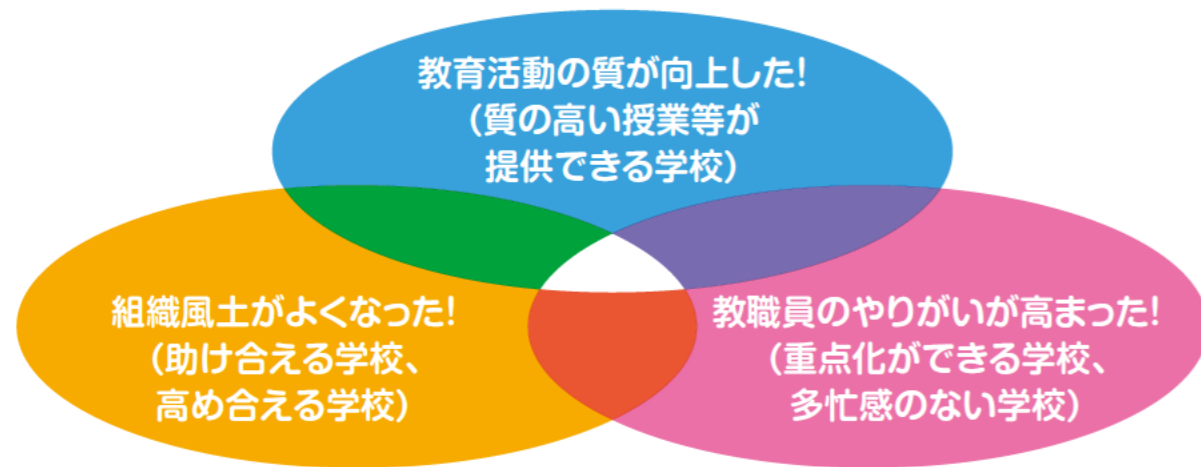
学校経営品質向上活動



三重県教育委員会

学校経営品質向上活動が目指すもの

学校経営品質が向上した学校の状態



学校経営品質向上活動はさまざまな形で・・・

- 児童生徒満足度調査
- 教職員満足度調査
- 保護者アンケート
- オフサイトミーティング
- ベンチマーキング
- 授業公開・授業研究
- 児童・生徒による授業アンケート
- OJT研修
- ファシリテーション研修
- コーチング研修
- 異業種の講師による講演会
- 積極的な情報発信
- 地域住民の学校教育への参加

など

- 話し合いが活発になり学年や分掌間の連携・協力が強まった
- 学校の目指す方向のもと、教職員一人ひとりの役割がより明確になった
- 学級や学年だけでなく、学校全体をよくしようという意識が高まった
- 地域や企業など外部と連携してお互いをよりよくしていこうという意識が高まった
- 授業の工夫・改善がすすんだ

など

三重県型「学校経営品質」の考え方



学校経営品質向上活動とは

学校を取り巻く環境が激しく変化する中で、学校教育には、児童生徒や保護者、地域の方々から、多様な要求・期待が寄せられています。

学校はそのような要求や期待を踏まえ、児童生徒にとってよりよい教育を行うために、自ら改善していく必要があります。

学校経営品質向上活動は、公立の小中学校、県立学校が、教職員の対話と気づきを重視しながら、学習者の視点に立って、目指す学校像を描き、その実現のための重点目標を掲げ、実践し、現状を見つめなおし、継続的な改善を行うことによって、学校自らがよりよい学校をつくっていく活動です。

三重県型「学校経営品質」の基本理念

この基本理念は、三重県型「学校経営品質」が大切にしている**価値観**、**行動基準**を意味するもので、4つの要素からなります。

<学習者本位>

学習者本位とは、いつも学習者の視点からものを見て、行動することを大切にするという考え方です。

「学習者」とは、児童生徒をはじめ、保護者や地域の方々等、学校として「人づくり」という価値を提供する相手方を総称したものです。

取り組む際には、学校の活動が真に学習者のためになっているかを常に確認することが重要です。



<独自能力>

独自能力とは、その学校の「独自の強み」を伸ばして「特色のある学校づくり」をすすめることが、教育活動の質を高める学校経営につながるという考え方です。

確かな教育理念のもとに、独自の見方、考え方、方法により、目指す学校像の実現に取り組むことが重要です。

学習者本位

社会との調和

基本理念

独自能力

教職員重視



<社会との調和>

社会との調和とは、学校も社会の一員として、開かれた学校づくりをすすめ、その役割を自覚して地域に役立つことを目指すという考え方です。

教職員一人ひとりが自らの社会における立場と責任を自覚するとともに、学校は地域社会から信頼される活動をするのが大切です。



<教職員重視>

教職員重視とは、教職員一人ひとりのやる気と元気を大切にするという考え方です。

それらを引き出す(保つ)ために、学校は、教職員が仕事にやりがいを感じ、自らの成長を実感できる組織である必要があります。そのため、教職員一人ひとりが何に満足し、何に不満を感じているかを対話等によって把握し、理解し合い、みんなで改善することが大切です。

バランスよく!

これら4つの要素は、どれか1つだけ突出して優れていればいいというものではありません。4つのバランスを考え、それぞれを少しずつでもレベルアップしていくことが大切です。

三重県型「学校経営品質」の仕組み

学校プロフィール、学校経営の改革方針、アセスメント、学校関係者評価は、三重県型「学校経営品質」の重要なツールです。

目指す姿を描き行動する

P Plan

学校プロフィールの確認

学校経営の改革方針の策定

- ① 目指す学校像
- ② 現状と課題
- ③ 中長期的な重点目標
- ④ 本年度の行動計画
(できるだけ数値目標明示)

実践活動

活動評価(一般的な自己評価)

改善活動

D Do

C Check

A Action

“学校プロフィール”は、目指す学校像、学校の現状、将来変化への認識を教職員で共有するとともに、それらを踏まえた学校の重要な取組方針等を導き出すためのツールです。
この学校プロフィールで、どれだけ目指す学校像が具体化されているか、現状が的確に把握されているか、教職員に共有されているか等が、学校経営の改革方針やアセスメントの有効性を大きく左右します。

“学校経営の改革方針”は、学校プロフィールで共有した方針に沿って、重点目標を設定し、具体的な行動計画を策定するためのツールです。

“アセスメント”は、目指す学校像の実現という観点で、学校の組織の状態を診断するためのツールです。

組織の状態を診断する

学校プロフィールの確認

アセスメントの実施

① 8つの視点(7つの視点+活動結果)からの診断



- ② 強み・弱みの認識・共有
- ③ 重視すべき改善課題の認識・共有

学校関係者評価委員会等が、学校の自己評価等を評価する

学校関係者評価

学校関係者評価は、保護者や地域住民などの学校関係者により構成された学校関係者評価委員会等が、学校の自己評価等を評価するものです。

目的

- ① 学校経営の改革方針や自己評価等の質を高め、次への改善につなげます。
- ② 学校運営や教育活動への学校関係者の協力や参画を得て、地域に開かれた信頼される学校づくりを進めます。
- ③ 設置者は、学校関係者評価の結果をもとに適切な支援を行います。